

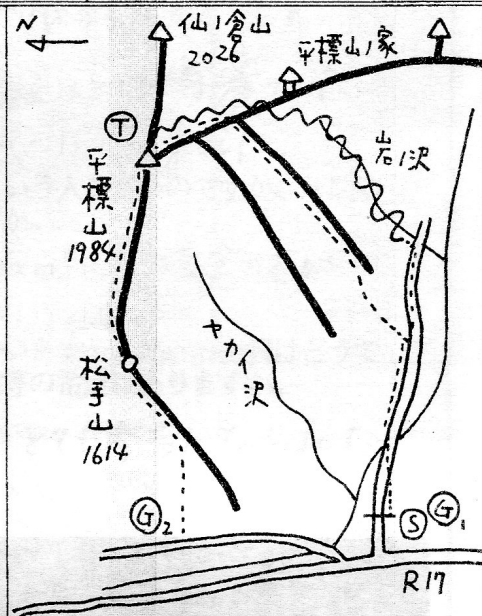
山行報告書

山行名	春山訓練・山スキーと登山		報告者	大根田元男	
山名	平標山(たいらっぴょう・1,984m)				
コースタイム	4・13	起床4:30 民宿『やまご』出発 5:40 ⇨平標駐車場出発 7:00 ~登山口 8:00 平標小屋上 9:45 ~平標山10:35/11:10 ~松手山12:20 ~下山口13:55			
標高差	△S登山口 ~T 平標山	⇨	987m	体力度	1・2・3・④・5・6
	▼T平標山 ~G 登山口	⇨	987m	技術度	1・2・③・4・5・6
走行距離	~			⇨	Km 展望度 1・2・3・4・5・⑥
参加者	後藤	50	最高の山スキーができた	来生	48 普通の山歩きでは体験できない
	大根田	60	尾根続きの展望は素晴らしい	河野仁	34 疲れたがとても満足
	高岡	59	雪底の上を歩行できた	加藤	48 山スキーを始めて本当に良かった

第3日目
 民宿の叔母さんの見送りで出発。塩沢石打ICから関越自動車道に入り、湯沢ICから17号線を通り平標山登山口へ。この間の山々はスキー場ばかり。さすが雪国と感じるが山全体が痛んでしまうのでは・・・と心配になる程、数多くスキー場がある。国道と別れて登山道を少し入った道端に10車輦程車が止めてある。

(無風・快晴)

これより先車が行けないので、私達の車もここに駐車し登山開始。他のパーティも登山の準備をしており、仲間がいると思うと心強い気がする。雪道ではあるが所々雪のない個所があり、帰路のスキー組はスキーの履き替えが大変になるかな？



河内沢に添った平標山登山口迄の道のりは長かった。登山道を少し登ると深雪で道がわからなくなり藪漕ぎの登りになってきた。ブナの樹林帯の尾根を上がるに従い、雑木が少なくなり歩きやすくなってきて助かる。平標山から仙ノ倉山方向の雪原は空の青さとマッチしていて素晴らしい景観に全員で暫し見とれる。一息入れて頂上を目指す。途中、軽快な足取りの下山者とすれ違い羨ましい思いがした。

平標山頂上には10人程登山者が休んでいた。展望は360度。苗場山、浅間山、特に尾根伝いに見られる谷川岳方向の景色は良い。昨日登ってきた巻機山を遠望できて感激。立派な山並みである。昼食後は大根田・高岡・来生の三人が山スキー組と別行動となり松手山元橋道のコースを下る。松手山手前の雪底は5m以上の厚みで張り出していて凄い迫力。この尾根道の横を慎重に通過するが気分が良いものではない。巨大鉄塔からの下りは道が分からず、先に下った人の足跡を頼りにブナ林の中に出来ている雪沢の急傾斜をピッケル

を使って下る。途中雪の大きな固まりが落下してきて、大木の陰に身を寄せて助かる。先に着いているスキー組と無線連絡をとりながらの下山で、舗装道路に出た所で迎えに来てくれた車のスキー組と合流する。

山スキー隊

記録・河野仁美

身支度を整えて出発する。暫くは平坦な林道歩き。登山口で一息入れ、いよいよ登りにかかる。暫く登ると笹の生い茂った急斜面をやっと登り上げ尾根に出た。ブナ林の尾根だが、未だ枯れ木で左右両方の眺めが良く、気持ちの良い尾根歩きだった。しかし勾配がきつくて登るのに苦労したのは私だけだろうか。昨日の巻機山スキーでの筋肉痛がこたえて、なかなか足が前にならなかった。一番若い笹の私が一番体力がなくて情けなかった。

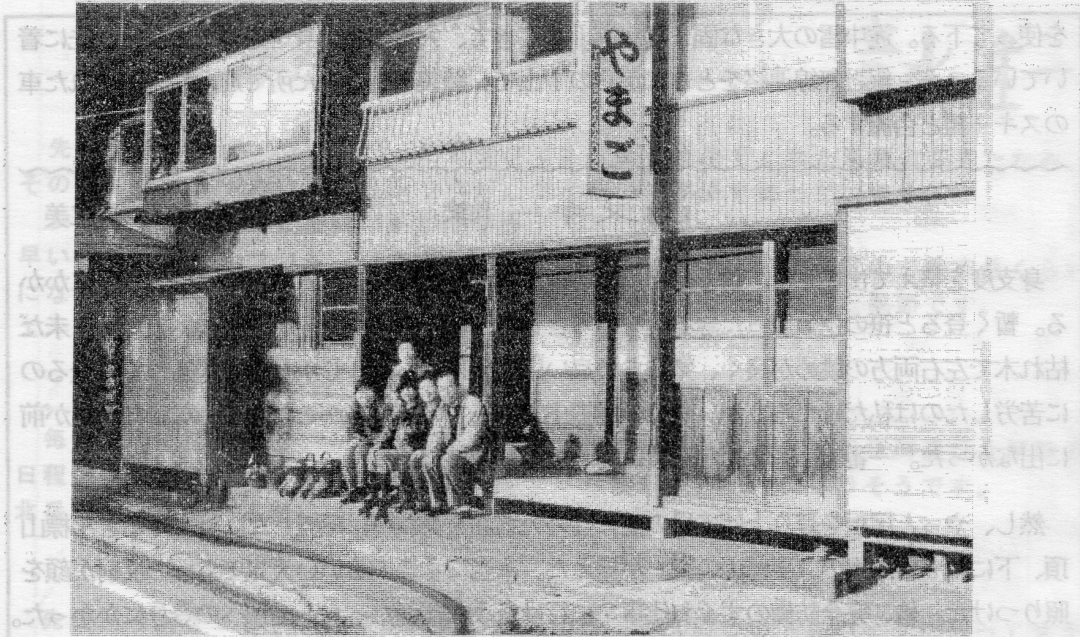
然し、やっと尾根を登り上げて目の前に雪の大斜面を見た時は感激した。見上げると平標山頂、下には赤い屋根の『平標山の家』が見えた。本当にすこぶるいい天気で雪面の反射が顔を照りつけた。皆、完全防備のすぐお仕事？に行けそうな覆面だった。山頂への登りにかかった。ここでも私は置いて行かれてしまった。それにしても皆さんの体力には圧倒されるばかりです。

平標の山頂に立った。最高の眺めだ。360度どちらを見ても山また山の繋がりだった。昨日登った巻機山、谷川岳も良く見えた。上越の山の懐の深さを実感した。眺めていると丁度ヤカイ沢からテレマークで下る人を見つけた。急傾斜の雪面をシュワー、シュワーと方膝を交互に曲げて滑っている。お〜っとジャンプターンだ。凄い！綺麗に決まった。すごいな〜。

徒歩隊とスキー隊に別れてCL・加藤・私は下山にかかる。昨年テレマークを始めたと言う方も一緒に下る事になった。テレマークターンが決まっていなかなか上手な方だった。先ずは小屋めがけて大斜面を下った。だだっぴろい雪面を思い思いのシュプールで下った。所々クレバスのようなものがあり、スキーのコントロールを誤ると落ちそうにある。小屋迄下ると次は樹林帯に入った。長い長いトラバースを斜滑降で下った。そして樹の間を縫うように下へ下へ滑って行った。途中で足が疲れ小休止。一口のビールが美味しい！いつも苦労して背負ってくる加藤は口にせず飲んでばかりの私が申しわけない。

そして暫く下ると崖っぷちに出たのでスキーを脱いでつば足で歩いた。暫く行くと既に登山口に戻っていた。後は林道に戻るのみ。然し今年は雪が少ないせいか、林道の所々で雪が溶けて土が剥き出しになっていて、スキーを脱いだりつけたりの繰り返しで苦労した。

途中私と加藤は林道から下の樹林帯へ下りた。自然の中をスキーで歩き回れるのは、殊の外楽しい。然し、調子に乗って下っていくと川っぷちに出てしまったので、慌てて林道迄登り返した。13:00 ようやく車に戻り、先に着いていたCLが迎えてくれた。ゲレンデのような広い所や、赤い布印がついているルートなら安心だが、今回のようにルートファインディングを要



↑ 民宿「おまじい」の例の縁復りで憩う

↓ 平標山の美しいブナ林を登る





← 平標山の夢のような大斜面を登り滑った
実際の山頂はもうひとつ上



その他の記述

する所は、やっぱりCLのような山に熟達した人でないと、とんでもない所へ下ってしまう可能性が大きいと思った。その点今回はとても安心してスキーを楽しむ事ができた。

それにしても2日間のハードな山スキーは、私の足の筋肉をコッチコッチに痛れさせた。然し久しぶりのダイナミックなスキーに大満足の山行だった。今回も色々お世話になり有難うございました。

- その
の
他
の
記
述
1. 登山口からの尾根道と、下山の中腹から舗装道路に出るまでブナの原生林でよい。一か所鉄塔の人工物あり。鉄塔は柏崎の原発から首都圏に電力を送る送電線の鉄塔。高さ 120mと巨大である。
 2. 今年は積雪少なく、本来下る予定のヤカイ沢はブッシュが多く変更した。
 3. 平標山の家は未だ雪の中で、丁度掘り出し中だった。
 4. 岩の沢のブナ林間コースはサイコ〜だ〜。定番コースにしたい。



↑ 平標山山頂にて 左後方に昨日の巻様山が見える

4/13

平標山 山スキーの図

